



# 全国私立大学 FD連携フォーラム

News Letter No.15

## CONTENTS

|       |   |
|-------|---|
| P.2   | ご挨拶   |
| P.3   | 加盟校一覧／<br>新規加盟校のご紹介（上智大学）                             |
| P.4-5 | 2019年度前半期活動報告<br>（総会・シンポジウム）                          |
| P.6-7 | 2019年度後半期活動報告<br>（懇談会企画／幹事校・会員校ミーティング）／<br>2019年度取組概要 |
| P.8   | 入会のご案内／実践的FDプログラムのご案内                                 |



▶ 代表幹事校・地域担当幹事校【西日本担当】 関西学院大学

## 互いの特色から 学びあえる場を目指して

関西学院大学 高等教育推進センター長  
北村 昌幸



このたび創価大学からバトンを受け継ぎ、代表幹事校の役目を担うこととなりました。

関西学院大学においてFDに関連する事柄を統括するのは、高等教育推進センターという、設立10周年を迎えた部署です。当センターでは人事の異動が激しく、平均すると2年ごとにセンター長が交代しています。また、職員も次々に入れ替わっております。センターを離れた教職員が複数の学部や部局に散らばっていけば、それぞれの異動先にFDの最新事情に関する知見が伝わるというメリットはありますが、しかし、センター自体に経験や知識を蓄積していくことを考えた場合、十分な引き継ぎがなされるかどうか、不安な面もあるのが実情です。私自身、教育学の専門家ではないため、センター長に就任して以来、手探りで職務にあたってきました。ですから、JPFFの活動を通じて、他大学の取り組み状況をじかに聞き取ることができたり、いまの高等教育の問題点を

ともに議論できたりしたことは、とても幸いだと感じています。

もちろん、一方的に受け取るばかりではなく、本学からも有益な情報を提供していかなければなりません。さきごろ、本学における新たな教育目標として、10項目から成る「Kwansei コンピテンシー」（学部に関係なく、すべての学生が身につけるべき知識・能力・資質）が策定されました。いま、これらを実現するための教育方法を検討しようとしております。その実践例や効果が形になってくるのは、しばらく先のことになるでしょうが、ゆくゆくはJPFF加盟大学に提示できるような内容を積み上げていきたいと思っています。

将来はそれとして、まずは代表幹事校としての責務を果たすべく、加盟大学相互の連携や情報交換を促進し、各大学におけるFDの活性化に寄与できるよう努める所存です。ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



▶ 地域担当幹事校【東日本担当】 明治大学

## 大学間連携による 高等教育発展を目指して

明治大学 教育開発支援センター長  
千田 亮吉



明治大学は、2008年の発足時より加盟し、2019年6月より地域担当幹事校を、そして2020年6月より代表幹事校を担う予定です。

本学では、教育理念及び学部等の教育目標に基づき、教員が主体的に行う授業改善に資することを目的とし、教育方法の研究、工夫を積極的に推進するため、2002年11月、学長の下に、教員研修（FD）委員会が設置されました。引き続き2006年12月には、教育開発・支援センターが設置され、FD活動の推進を図っております。

その中で、各種アンケートを利用した組織的な授業改善、IR (Institutional Research) を活用した教育改善及びカリキュラムの見直し、各学部等でのFDの取り組みを共有する仕組み及び実施状況を把握する仕組みの構築等、組織的な教育改善を進めることが課題となっております。そのためには教員個人や教員組織としての継続的な教育力向上を図ることが不

可欠です。

本学のようにFDにおいて課題を持っている大学にとっては、JPFFのミーティングやセミナーに参加することは、教職員の立場を超えて、意見交換や情報交換を行ったり、事例やノウハウの共有だけでなく、各大学が共通して抱えている課題や展望を話し合えるということは貴重な機会となります。大学におけるFD等の取り組み事例や課題の共有を通じて新たな知見を獲得しながら、大学間の連携を深化させることで、高等教育全体が発展することを願っています。

社会情勢がめまぐるしく変化し、大学教育に求められることが多様化している状況下において、大学にはそのような社会状況に対応できる学生を送り出す責務があります。問題が大きくなり、複雑化すればするほど、連携して対応する必要性も高まる中、JPFF会員校の一層の連携が重要になるものと思います。JPFFの更なる発展を祈念致します。

## 加盟校一覧

|         |             |               |        |
|---------|-------------|---------------|--------|
| 代表幹事校   | 関西学院大学      |               |        |
| 地域担当幹事校 | 明治大学【東日本担当】 | 関西学院大学【西日本担当】 |        |
| 幹事校     | 関西大学        | 関西学院大学        | 慶應義塾大学 |
|         | 國學院大學       | 創価大学          | 中央大学   |
|         | 中部大学        | 同志社大学         | 法政大学   |
|         | 明治大学        | 立教大学          | 立命館大学  |
|         | 龍谷大学        | 早稲田大学         |        |
| 会員校     | 愛知大学        | 青山学院大学        | 神奈川大学  |
|         | 関東学院大学      | 北里大学          | 九州産業大学 |
|         | 京都産業大学      | 甲南大学          | 神戸学院大学 |
|         | 国士舘大学       | 芝浦工業大学        | 上智大学   |
|         | 専修大学        | 中京大学          | 帝京大学   |
|         | 東京農業大学      | 東北学院大学        | 東洋大学   |
|         | 南山大学        | 日本大学          | 福岡大学   |
|         | 武庫川女子大学     | 名城大学          | 明星大学   |
| 事務局校    | 創価大学        |               |        |

50音順、全38大学（2020年3月現在）

## 新規加盟校のご紹介 上智大学

## ◆全国私立大学FD連携フォーラムへの期待

本学では「叡智が世界をつなぐ」という建学の理念の下、社会変革に柔軟に対応できる人の育成を目指しています。教育内容と教育



方法は、学生の変化や時代と社会のニーズを意識し変えていく必要があります。その具体的方法を私たち自身が学んでいかなければなりません。何を残し、何を变えていくのかという判断の下で、本学の教育に新たなチャレンジを導入するための情報や材料を入手する必要があります。全国私立大学FD連携フォーラムでの活動を通じ、他大学の事例を学び、新たな情報を得たいと考えております。

## ◆学内のFD実践紹介

本学におけるFD活動は、各学部・学科、各研究科・専攻における取り組みとともに、FD委員会企画による全学的な活動を機軸としたプログラムに基づいて実施されています。後者の具体例としては、全学共通科目を対象とした授業改善のためのアンケート実施と、その結果に基づくGood Practice賞の選考や顕彰があります。また毎年、新任教員研修会を開いている他、社会および学内の要請を踏まえて「英語による授業方法」や「学生支援の現状理解と対応」といったようなトピックでワークショップやセミナーを開催しています。



## 総会・シンポジウムを振り返って

創価大学

教育・学習支援センター長 望月 雅光

2019年度の全国私立大学FD連携フォーラム（JPFF）総会ならびにシンポジウムが、2019年6月29日（土）、創価大学・中央教育棟にて開催されました。



総会では、代表幹事校の創価大学から、教育・学習支援センター長の望月 雅光が司会を担当し、2018年度の活動・決算報告を行いました。その後、2019年度から代表幹事校を引き継ぐ関西学院大学 高等教育推進センターの北村 昌幸センター長の進行により、2019年度の活動計画とその概要、年間スケジュール、予算等について報告と審議が行われました。本総会において、2019年度の体制についても紹介があり、東日本地域担当幹事校を務める明治大学から、教務事務部 島村総一教務事務長にあいさつを頂きました。その他、事務局業務の外部委託に伴う、契約当事者の変更手続き等についてもあわせて審議され、承認されました。

総会に引き続き開催されたシンポジウムでは、「AI時代の大学教育への考察 ―AI技術がもたらす学習環境の進化と大学の関わり―」をテーマとして掲げました。2008年の設立以降、中規模以上の私立大学の連携によって、共通の課題の改善や、社会が求める教育の質を保证するための取組を行ってきた全国私立大学FD連携フォーラムとして、昨今の社会情勢を踏まえ、これから到来するAI時代における大学教育のあり方について、文部科学省高等教育局の高橋 浩太郎氏、デジタルハリウッド大学大学院 教授であり、一般社団法人教育イノベーション協議会 代表理事、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会 理事を務める佐藤 昌宏氏のお二人を講師に招き、講演、ならびにパネル

ディスカッションを行いました。

創価大学 学士課程教育機構長の田中 亮平副学長による会場校あいさつの後、初めに高橋 浩太郎氏からは、文部科学省入省後、高等教育政策の分野や中央教育審議会答申取りまとめ、さらに現所属である大学振興課での卓越大学院プログラム立ち上げに関わってこられたご経験を踏まえ、「大学の将来を考える」をテーマに、社会システムや組織論の観点から話題提供を頂きました。

次に、大学教育だけでなく、一般社団法人 教育イノベーション協議会 代表理事、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会理事、内閣官房教育再生実行会議技術革新WG委員、経産省未来の教室とEdTech研究会座長代理など教育改革に関する国の委員や数多くの起業家のアドバイザーなど、幅広い分野でご活躍の佐藤 昌宏先生から、「EdTechが変える大学教育」と題して基調講演を行って頂きました。

お二人の講師による講演の後には、創価大学 教育・学習支援センター長の望月がコーディネーターを務め、会場の参加者も交えてのパネルディスカッションを行いました。教員・職員問わず、大学教育改革に最前線で取り組む参加者の皆さまからは、今後の大学教育の在り方、制度や運用に関する導入のための方策等、活発な質問がなされ、大変示唆に富んだ有意義な時間となりました。

シンポジウムの最後は、2019年度代表幹事校である関西学院大学の北村高等教育推進センター長より閉会のあいさつがあり、今回の総会、シンポジウムは盛会のうちに終えることができました。





シンポジウム後に執り行われた懇親会では、パネリストの先生方、また、遠方からお越しになった方々を含め、非常に多くの方々にご参加いただき、多くのテーブルでにぎやかな会話が絶えない情報交換の機会となりました。

今回のシンポジウムには、31大学から50名を超える方々に参加いただきました。これは、多くの大学ならびに大学関係者が、昨今の高等教育政策の動向に関心を持っており、私立大学の置かれる様々な状況を乗り越えるための方策を

真剣に模索しているからだと考えています。参加者からは「時代の変化に伴う、学校教育の変化について学ぶことができた」「初等中等教育と高等教育の連携をさらに深化させていく必要性を感じた」等の声が寄せられました。

全国私立大学FD連携フォーラムに所属する、一つひとつの加盟大学をみても、FD推進の先導的な大学であり、連携による相乗効果は、計り知れません。引き続き、本フォーラムの連携がそれぞれの私立大学の改革と高等教育全体の発展に寄与していくことを期待しております。



## シンポジウム次第

### ◆開会あいさつ

田中 亮平（創価大学 副学長、学士課程教育機構長）

### ◆講演

#### 「大学の将来を考える」

高橋 浩太郎 氏（文部科学省高等教育局 大学振興課 大学改革推進室 室長補佐）

### ◆基調講演

#### 「EdTech が変える大学教育」

佐藤 昌宏 氏（デジタルハリウッド大学大学院 教授、一般社団法人教育イノベーション協議会 代表理事、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会 理事）

### ◆パネルディスカッション

コーディネーター：望月 雅光（創価大学 教育・学習支援センター長）

パネリスト：佐藤 昌宏 氏（デジタルハリウッド大学大学院 教授、一般社団法人教育イノベーション協議会 代表理事、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会 理事）

：高橋 浩太郎 氏（文部科学省高等教育局 大学振興課 大学改革推進室 室長補佐）

### ◆閉会あいさつ

北村 昌幸（関西学院大学 高等教育推進センター長）

## 2019年度懇談会企画 開催

JPF代表幹事校（関西学院大学）

2020年1月15日（水）、JPF加盟校による第9回懇談会が開催されました。この懇談会は各大学におけるFD活動の取り組みの改善・発展の一助とすることを目的としており、毎回、事前にディスカッションテーマを決め、テーマに関する各大学における課題やグッド・プラクティスを共有しています。

今回は、「IRの取り組み内容について」、「組織的”FD”の取り組み方について」、「授業時間外の学修支援について」をテーマとして、5～7名のグループに分かれてディスカッションを行いました。グループディスカッションでは、各大学での取り組み状況についてご報告いただき、課題や改善策についても議論しました。グループディスカッションの後には、東西の会場をテレビ会議システムで接続し、各グループで出された意見を報告し合い、情報共有を図りました。

### 【実施概要】

日時：2020年1月15日（水）14：00～16：30

会場：関西会場 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

関東会場 関西学院大学 東京丸の内キャンパス

（※テレビ会議で接続）

### 【グループディスカッションのまとめ】

テーマA：IRの取り組み内容について

【キーワード】

教学IR、経営IR、情報公開、アセスメント・ポリシー、学生・卒業生調査

IRの実施体制やデータベースの構築・運用方法、調査の実施方法、個人情報の管理方法などについて情報共有しました。IRの取り組みを有効に進めていくためには、大学執行部とビジョン・目的意識を共有することや、IRを担う組織に対する学内での信頼感が大切であるなどの意見がありました。また、BIツールを利用して学部・研究科での活用を進めている事例がある一方で、学部・研究科との連携を深めたいが人的・時間的リソースが足りないとの課題もあがりました。

調査については、回収率向上が課題であるとの声が多く聞かれました。また、学生の学びに寄与する調査・分析するためにも学生へのフィードバックが大切との議論もあり、特徴的な取り組みとして、Web調査の結果を学生へ即時にフィードバックしている事例などが報告されました。



テーマB：“組織的”FDの取り組み方について

【キーワード】

新任教員研修、学修成果の把握・活用、授業改善の制度的取組、FDプログラムへの参加促進

FDの実施体制・組織や取り組み内容について情報共有しました。特徴的な事例として、新任教員研修への参加やティーチングポートフォリオの作成を昇格のポイントに利用している事例、新任教員とベテラン教員との交流を図る取り組みを行っている事例、全教職員宛てに定期的にメールマガジンを配信している事例などが報告されました。また、学生の力をFDに活用する取り組みとして、学生・教員・職員が一堂に会して教育改善について語り合う企画を学生主体で実施している事例などが報告されました。

共通する課題として、FDプログラムへの参加者が少ないことや、実施する側と教員との意識の差が大きいこと、FD推進



の組織に専属の教員がないことなどがあげられました。教員と職員が協働で進めることが大切である、意識の差を埋めるためにも参加率向上の取り組みが重要であるといった意見があがりました。

テーマC：授業時間外の学修支援について

【キーワード】

アカデミック・アドバイジング、アカデミック・ライティング、ピア・エデュケーション、ラーニング・コモンズ、AIの活用

授業時間外の学修支援として提供しているサービスについて情報共有しました。各大学とも制度的な整備は進んできているようですが、どこでどのようなサポートを受けられるかについて学内での情報共有がまだ十分にできていないという声もありました。

また、学生の参加が少ないことが共通の課題としてとりあげられました。学修支援に対する潜在的なニーズはあるものの、支援を必要とする学生が、自身に何が不足しているのか、悩みが何なのかをわかっておらず、どこに相談すればよいかわかっていないという問題も指摘され、仕組みを作って待つのではなく、学生に積極的にアプローチしていくことが重

要との意見が述べられました。また、相談窓口を一元化している事例や、AIを用いたチャットで質問を受けている事例など、相談場所がわからない学生が気軽に質問できるための取り組みも報告されました。



そのほか、学生のモチベーションを上げるためには、学生が主体的に利用できている実感をもたせる工夫が必要との意見や、センター任せにせず個々の教員が積極的に関わっていくことが大切などの意見もありました。

#### 【懇談会のまとめ】

関東、関西の2会場で開催された懇談会には、両会場あわせて67名とたいへん多くの方にご参加いただきました。他大学での取り組みや課題を参考にして今後の活動につなげようと、いずれのグループもたいへん活発な議論が交わされていました。参加者からは、「同じ取り組みでも、実施内容や取り組み方は様々で、各大学で工夫された事例が聞けて参考になった」、

「同じ課題を抱えている大学も多く、悩みを共有できたのがよかった」といった感想をいただきました。

### 幹事校・会員校ミーティング報告

#### 1. 事務局校の廃止について

外部委託による事務局業務の運用が順調に進んでいることから、事務局校を廃止することが提案されました。

#### 2. 「全国私立大学FD連携フォーラム規約」改正について

事務局校の廃止に伴う規約改正案が提案されました。

#### 3. 「全国私立大学FD連携フォーラム申し合わせ事項」改正について

事務局校の廃止に伴う申し合わせ事項改正案が提案されました。あわせて、旅費支給の対象や例外対応時の決裁ルールの改正も提案されました。

#### 4. 2020年度 総会・シンポジウム 開催日程について

2020年度の総会・シンポジウムを2020年6月27日(土)13:00より関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパスで開催することが報告されました。総会に先立ち、幹事会を12:00より開催する予定です。

#### 5. 2020年度 実践的FD プログラム オンデマンド講義サービスの運用について

実践的FDプログラム オンデマンド講義サービスの運用や申し込み方法について説明がありました。

## 2019年度 取組概要

### 2019年度 幹事会

日 時：2019年6月29日(土)12:00～13:00  
会 場：創価大学 中央教育棟

### 2019年度 総会・シンポジウム

日 時：2019年6月29日(土)13:00～17:00  
会 場：創価大学 中央教育棟

#### ◆2019年度シンポジウム

テーマ：「AI時代の大学教育への考察 ―AI技術がもたらす学習環境の進化と大学の関わり―」

#### ◆講演

文部科学省高等教育局 大学振興課大学改革推進室 室長補佐  
高橋 浩太郎 氏

#### ◆基調講演

デジタルハリウッド大学大学院 教授 佐藤 昌宏 氏

#### ◆パネルディスカッション

創価大学 教育・学習支援センター長 望月 雅光 氏  
デジタルハリウッド大学大学院 教授 佐藤 昌宏 氏  
文部科学省高等教育局 大学振興課大学改革推進室 室長補佐  
高橋 浩太郎 氏

### 2019年度 代表幹事校ミーティング

日 時：2019年10月14日(月・祝)10:30～12:00  
会 場：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス (関西会場)  
明治大学 駿河台キャンパス (関東会場)  
(※テレビ会議で接続)

### 2019年度 幹事校・会員校ミーティング

日 時：2020年1月15日(水)13:00～14:00  
会 場：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス (関西会場)  
関西学院大学 東京丸の内キャンパス (関東会場)  
(※テレビ会議で接続)

### 2019年度 懇談会企画

日 時：2020年1月15日(水)14:00～16:30  
会 場：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス (関西会場)  
関西学院大学 東京丸の内キャンパス (関東会場)  
(※テレビ会議で接続)  
テーマ：3つのテーマ (IRの取り組み内容・“組織的”FDの取り組み方・授業時間外の学修支援) について、各大学における事例や課題の共有

## 入会のご案内



全国私立大学FD連携フォーラムは、全国の中規模以上(学生数8,000名以上)の私立大学が連携し、全国の高等教育の質の向上を目指し、活動しています。本フォーラムでは、高等教育の質の向上に資するため、加盟校間での情報共有や意見交換を促進しています。

ウェブサイトでは取り組みの概要や、加盟校のFD活動についてご紹介しております。詳しくは下記ページをご覧ください。

URL: <http://www.fd-forum.org/fd-forum/>

入会を希望される場合には、ウェブサイト「入会のご案内」から「入会届」をダウンロードの上、事務局まで郵送、メール、FAXでお送りください。

※フォーラム運営に係る費用は、会員校の年会費で賄っております。

(年会費:5万円(2020年3月現在))

※入会に関するご質問がございましたら、事務局までお問い合わせください。

## 実践的FDプログラムのご案内

実践的FDプログラムとは、教員が自らの授業を専門分野と教育学の観点から省察することができる知識、技能、態度、特にアクティブラーニングを実践する能力を修得する研修プログラムです。

本プログラムは、教員の4つのアカデミック・プラクティス(教育、研究、社会貢献、管理運営)に対して、

- ① 教育学をはじめとした系統的な理論のオンデマンド講義
- ② 授業技術やコミュニケーションスキルを育成するワークショップ
- ③ 個々の教員ニーズに応える日常的な教育コンサルテーション

から構成されています。

私立大学には、クラス規模の大きさ、教員の持ちコマ数の多さ、学生の学力と学習意欲の多様性など、多くの困難な教育条件が存在します。たとえば、各大学では、新任教員研修において本プログラムを利用することを通して、大学教員に求められる教育力量と職能を育成し、大学教育の質を保証することが可能となります。

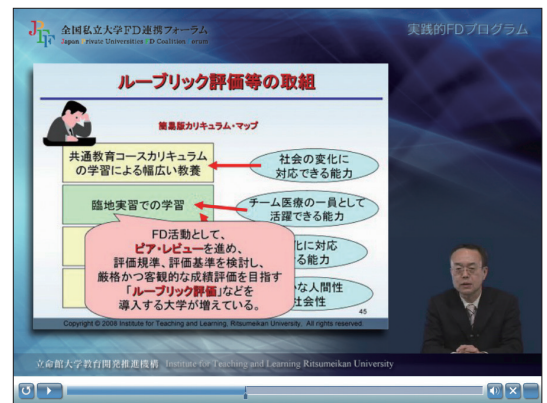
各大学の対象者や実施目的の違いによって、講義(オンデマンド)や講座(ワークショップ)等を選択し、様々なプログラムを作ることが出来ます。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

JPF会員校

[http://www.fd-forum.org/fd-forum/html/fd\\_application.html](http://www.fd-forum.org/fd-forum/html/fd_application.html)

JPF非会員校

<http://www.ritsumei.ac.jp/itl/VOD/>



### 利用申込について

利用期間は最長1年間(当該年度内)となります。【上半期受付期間】2月1日～4月30日 【下半期受付期間】9月1日～9月30日  
上記のウェブサイトより「利用申込書」ならびに「受講者情報登録用紙」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、受付に記載のメールアドレスまでお送り下さい。

受付

立命館大学 (事務局:教育・学修支援センター 担当部署:教務課)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL:075-465-8304 FAX:075-465-8311 e-mail:fd71cer@st.ritsumei.ac.jp

全国私立大学FD連携フォーラム事務局

メディア総研株式会社 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1-10F TEL:03-6206-3030 FAX:03-6435-0801 e-mail:jpff@mda.ne.jp